

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア

コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 北角浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,075	107.5	373	—	393	—	338	—
25年3月期第2四半期	1,000	△15.5	△46	—	△39	—	△89	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 356百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △126百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	79.85	78.81
25年3月期第2四半期	△21.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	2,479	1,373	55.4	323.43
25年3月期	2,570	1,020	39.7	240.71

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,373百万円 25年3月期 1,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	200.00	200.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,190	26.0	317	—	332	—	274	—	64.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	4,303,200 株	25年3月期	4,299,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	58,000 株	25年3月期	58,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	4,244,566 株	25年3月期2Q	4,230,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額及び1株当たり純資産金額を算定しております。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費及び生産・輸出に持ち直しの動きがみられたほか、企業の業況判断も改善されたなど、緩やかな回復が見られました。

当社グループが属するゲーム業界におきまして、当年9月に国内最大のゲームイベント「東京ゲームショウ2013」が開催され、過去最多の30か国以上の国や地域から約350の企業や団体が出展し、総入場者数が約27万人（昨年度 約22万人）と過去最高となり、今後の業界の動向に期待が高まっております。コンシューマーゲーム業界におきましては、当年9月に人気シリーズのゲームタイトルが発売され、活発な動きがありましたが、市場規模に関しましては、前年同期と比べてハードウェア・ソフトウェアの販売数は減少しており、業界全体では縮小傾向が見られました。モバイル業界におきましては、国内外の新規ゲーム開発企業や、大手コンシューマーゲーム開発企業がソーシャルゲーム市場に参入しており、競争が激しく、厳しい市場環境となっております。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきまして、20周年記念タイトルを含む9タイトルを発売いたしました。また、20周年記念ライブイベントを行い、当社ブランド及び当社タイトルの更なる認知向上に努めてまいりました。オンライン事業におきましては、GREE、ヤマダゲーム及びMobageにてソーシャルゲームの配信を行うとともに、Android OS及びiOS対応のゲームアプリの配信を行いました。また、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツの配信を行ってまいりました。ライセンス事業におきましては、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信を行いました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を行いました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,075,486千円（前年同期比107.5%増）、営業利益373,958千円（前年同四半期は46,217千円の営業損失）、経常利益393,326千円（前年同四半期は39,515千円の経常損失）、四半期純利益338,954千円（前年同四半期は89,239千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

（パッケージ事業）

パッケージ事業におきましては、国内外あわせて全9タイトルの発売を行いました。

国内市場では『魔界戦記ディスガイア3 Return PlayStation Vita the Best』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Z/X 絶界の聖戦』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『魔女と百騎兵』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『アルカディアスの戦姫』（PlayStation3専用ゲームソフト）の4タイトルを発売いたしました。海外市場では『Black Rock Shooter The Game』（邦題：『ブラックロックシューター THE GAME』、PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『Time and Eternity』（邦題：『時と永遠～トキトワ～』、PlayStation3専用ゲームソフト）、『Etrian Odyssey IV』（邦題：『世界樹の迷宮IV 伝承の巨神』、ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）、『SHIN MEGAMI TENSEI: DEVIL SUMMONER: SOUL HACKERS』（邦題：『デビルサマナー ソウルハッカーズ』、ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）、『Disgaea D2:A Brighter Darkness』（邦題：『ディスガイア D2』、PlayStation3専用ゲームソフト）の5タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、ぬいぐるみやラバーストラップ等の新規グッズや20周年記念ライブイベントのグッズ制作・販売等を行いました。また、20周年記念ライブイベント「魔界ウォーズLive episode1 アサギの逆襲」を行い、お客様及び関係者の皆様への感謝の気持ちを表すとともに、顧客満足度の向上と新規顧客の獲得に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高1,591,752千円、営業利益184,206千円となりました。

（オンライン事業）

オンライン事業におきましては、GREE、ヤマダゲーム及びMobageにて『ディスガイア魔界コレクション』の配信を行うとともに、Android OS対応ゲームアプリ『ディスガイア レギオンバトル』の配信を行いました。また、iOS対応ゲームアプリ『マメクエ』の配信を当年8月より開始いたしました。さらに、PlayStation Networkを通じて『ディスガイアD2』の追加ダウンロードコンテンツやカスタムテーマ等の配信を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高320,861千円、営業利益214,283千円となりました。

（ライセンス事業）

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として制作を行いましたGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ビックリマン』の配信をしてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高63,276千円、営業利益57,147千円となりました。

（その他事業）

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから当年9月に発売されました『うたの☆プリンスさまっ♪MUSIC2』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)と、当年10月に発売が予定されております『神々の悪戯(あそび)』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱う「プリニークラブ」の運営におきまして、当年7月に「プリニークラブ金山店」を新規開店いたしました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高99,596千円、営業利益40,161千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,479,218千円となり、前連結会計年度末に比べ91,386千円の減少となりました。

主な流動資産の増減は、受取手形及び売掛金の減少(前連結会計年度末に比べ、81,497千円の減少)、商品及び製品の増加(前連結会計年度末に比べ、64,749千円の増加)、仕掛品の減少(前連結会計年度末に比べ、114,194千円の減少)等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ54,953千円の増加)等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,106,200千円となり、前連結会計年度末に比べ443,518千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ550,000千円の減少)、未払法人税等の増加(前連結会計年度末に比べ61,900千円の増加)、売上値引引当金の増加(前連結会計年度末に比べ51,942千円の増加)等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ24,698千円の減少)等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,373,018千円となり、前連結会計年度末に比べ352,132千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、四半期純利益338,954千円による増加等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は686,775千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益393,609千円、売上債権の減少額87,071千円、たな卸資産の減少額51,373千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は59,375千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出207,289千円、投資有価証券の売却による収入158,636千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は584,213千円となりました。これは主に、短期借入金の純減額550,000千円、長期借入金の返済による支出27,342千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年3月期の通期業績見通しにつきましては、当第3四半期連結会計期間に発売を予定している『クリミナルガールズ INVITATION』、当第4四半期連結会計期間に発売を予定している『ディスガイア4 Return』などの商品の販売動向は、いまだ不確定な要素を含んでおります。従いまして、現段階においては、平成25年10月18日に公表いたしました通期業績予想は変更しておりません。今後の受注状況や、その他の発売予定タイトルの開発状況等を勘案し、通期業績について修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,256	678,002
受取手形及び売掛金	690,538	609,041
商品及び製品	48,265	113,014
仕掛品	215,971	101,777
繰延税金資産	4,142	4,305
その他	167,529	113,607
貸倒引当金	△1,700	△1,700
流動資産合計	1,752,003	1,618,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	343,004	338,280
機械装置及び運搬具（純額）	4,583	7,786
土地	212,687	212,687
その他（純額）	31,730	31,363
有形固定資産合計	592,006	590,117
無形固定資産		
投資その他の資産	11,307	9,761
投資有価証券	185,593	240,546
その他	29,693	20,744
投資その他の資産合計	215,286	261,291
固定資産合計	818,600	861,170
資産合計	2,570,604	2,479,218

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,739	226,169
短期借入金	900,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	46,872	44,228
未払金	98,650	68,042
未払法人税等	9,103	71,003
賞与引当金	27,987	44,261
売上値引引当金	49,550	101,492
その他	51,327	67,628
流動負債合計	1,388,230	972,827
固定負債		
長期借入金	143,438	118,740
退職給付引当金	14,227	13,309
その他	3,822	1,322
固定負債合計	161,488	133,372
負債合計	1,549,718	1,106,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	246,180	246,342
資本剰余金	236,180	236,342
利益剰余金	586,001	920,714
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	1,051,490	1,386,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,302	3,573
為替換算調整勘定	△34,907	△17,083
その他の包括利益累計額合計	△30,604	△13,510
純資産合計	1,020,885	1,373,018
負債純資産合計	2,570,604	2,479,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,000,471	2,075,486
売上原価	540,467	1,177,077
売上総利益	460,003	898,409
販売費及び一般管理費	506,221	524,450
営業利益又は営業損失(△)	△46,217	373,958
営業外収益		
受取利息	1,019	820
受取配当金	1,898	1,840
為替差益	—	16,695
投資事業組合運用益	11,694	—
その他	1,259	4,074
営業外収益合計	15,871	23,431
営業外費用		
支払利息	2,973	3,557
為替差損	6,158	—
投資事業組合運用損	—	467
その他	38	38
営業外費用合計	9,169	4,063
経常利益又は経常損失(△)	△39,515	393,326
特別利益		
投資有価証券売却益	90	1,064
子会社株式売却益	3,378	—
特別利益合計	3,468	1,064
特別損失		
投資有価証券評価損	3,900	—
固定資産売却損	—	781
特別損失合計	3,900	781
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△39,947	393,609
法人税等	49,292	54,655
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△89,239	338,954
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△89,239	338,954

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△89,239	338,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,477	△728
為替換算調整勘定	△26,348	17,823
その他の包括利益合計	△36,826	17,094
四半期包括利益	△126,066	356,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△126,066	356,048
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△39,947	393,609
減価償却費	22,810	20,845
貸倒引当金の増減額(△は減少)	850	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,176	16,106
売上値引引当金の増減額(△は減少)	6,333	50,116
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△96	△918
受取利息及び受取配当金	△2,917	△2,661
支払利息	2,973	3,557
投資事業組合運用損益(△は益)	△11,694	467
為替差損益(△は益)	4,277	△2,323
有形固定資産売却損益(△は益)	—	781
投資有価証券評価損益(△は益)	3,900	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△90	△1,064
子会社株式売却損益(△は益)	△3,378	—
売上債権の増減額(△は増加)	△5,823	87,071
たな卸資産の増減額(△は増加)	△305,172	51,373
仕入債務の増減額(△は減少)	34,361	16,621
その他	42,671	6,504
小計	△238,767	640,088
利息及び配当金の受取額	2,563	2,268
利息の支払額	△3,152	△3,354
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△51,428	47,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	△290,784	686,775
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,728	△17,622
有形固定資産の売却による収入	—	500
無形固定資産の取得による支出	△5,351	△723
投資有価証券の取得による支出	△100,118	△207,289
投資有価証券の売却による収入	41,837	158,636
貸付けによる支出	△40,000	—
貸付金の回収による収入	3,293	9,987
子会社株式の売却による収入	4,000	—
投資事業組合からの分配による収入	22,500	—
その他	—	△2,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,567	△59,375

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	320,000	△550,000
長期借入れによる収入	48,000	—
長期借入金の返済による支出	△17,503	△27,342
リース債務の返済による支出	△2,399	△2,955
株式の発行による収入	3,080	325
配当金の支払額	△4,217	△4,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	346,960	△584,213
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,899	7,558
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△44,292	50,745
現金及び現金同等物の期首残高	673,114	627,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	628,822	678,002

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	738,257	171,839	41,829	48,544	1,000,471	—	1,000,471
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	738,257	171,839	41,829	48,544	1,000,471	—	1,000,471
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△79,382	117,598	34,503	587	73,305	(119,523)	△46,217

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額119,523千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,591,752	320,861	63,276	99,596	2,075,486	—	2,075,486
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,591,752	320,861	63,276	99,596	2,075,486	—	2,075,486
セグメント利益又はセグメント損失(△)	184,206	214,283	57,147	40,161	495,799	(121,840)	373,958

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額121,840千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。